

森づくり推進プラン ～持続可能な森林循環の確立と林業の経営力強化～ の概要

◆ プランの位置づけ

- ・ 現行プランは、平成26年度から令和5年度の計画期間中、社会経済情勢の変化に対応するため必要に応じて見直すとしている
- ・ 森林環境譲与税など新たな制度への対応を図るため、東京都農林・漁業振興対策審議会答申「持続可能な森林循環の確立と林業の経営力強化」を踏まえてプランを改定

◆ 計画期間

令和3年度から令和12年度までの10年間

第1章 東京の森林・林業の位置付け

- ・ 東京の森林は木材供給、水源の涵養、土砂災害の防止など、様々な形で都民の生活に貢献
- ・ 林業は多摩地域や島しょ地域に持続的に雇用を創出し、地域振興に貢献
- ・ 林業を通じて間伐などの手入れを加えることで、森林の公益的機能が向上
- ・ 木材利用は、林業振興はもとより、地球温暖化の緩和に貢献
- ・ 「50年、100年先の『東京の森林の将来展望』～東京フォレストビジョン～」による未来像

第2章 東京の森林・林業を取り巻く状況

依然として厳しい林業経営

- ・ 急峻な地形や小規模・分散的な所有構造が制約となり、厳しい経営状況が継続

社会情勢の変化

- ・ 「森林経営管理法」と「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」の施行
- ・ 経済発展と社会的課題解決の両立に向けたデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が必要
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による生活様式等の変化
- ・ 深刻さを増す気候変動の影響

森林整備における現状と課題

- ・ 未だ整備が行き届いていない人工林の存在
- ・ 所有者や境界が不明な森林の増加が懸念
- ・ 高度な技術を有する林業従事者が少なく高齢化が進行
- ・ 多摩地域でシカによる林業被害が拡大
- ・ 激甚災害からの早期復旧
- ・ SDGsの目標の多くに関連する森林への関心の高まり

林業経営における現状と課題

- ・ 林道及び森林作業道の開設実績は減少傾向
- ・ 依然として低い多摩産材の認知度
- ・ 人口減少等により住宅分野における木材需要の縮小が懸念
- ・ 公共施設における木材利用の促進
- ・ 東京における木材需要の拡大に全国が期待

第3章 森林整備と林業振興に向けた施策展開

基本的な視点

目指すべき森林の姿を示し、限りある労力や財源等の選択と集中を図り森林整備を推進

新たな技術の活用や多摩産材の利用拡大による林業経営の強化とともに、担い手の育成に向けた更なる取組を推進

森林に対する都民や企業等の理解を深め、国産木材の利用や森林との多角的な関わりを通じて、東京から森づくりの輪を拡大

基軸1 森林循環を促進し公益的機能高める森林整備

(1) 森林の区分に応じた整備の推進

- ・ 森林整備の指針として森林を「生産林」と「保全林」に区分し、木材生産に適した「生産林」を中心に施業効率化を図り森林循環を促進
- ・ 公益的機能の発揮を優先すべき「保全林」は針広混交林等に誘導
- ・ 森林の所有者と境界の明確化を推進

(2) 区市町村との連携

- ・ 市町村による森林経営管理制度の運用を支援
- ・ 森林整備や木材利用における区市町村間の連携を促進

(3) 林業従事者の確保と育成

- ・ 研修の実施等により新規就業者の確保と育成を促進
- ・ 育成拠点「東京トレーニングフォレスト」の活用等により高度な技術習得を促進

(4) 野生動物による林業被害への対策

- ・ 野生動物による被害状況等に応じた適切な対策を検討
- ・ シカの管理捕獲と防護柵等による被害防除を強化

(5) 森林被害への対策

- ・ 自然災害により被災した森林について、治山事業による復旧を着実に推進
- ・ 森林病害虫による被害への適切な対策を促進

基軸3 多摩産材をはじめとする国産木材の需要拡大

(1) 新たな分野における木材需要の拡大

- ・ 中・大規模木造建築の設計等を支援
- ・ 塀をはじめとする施設の外構部の木質化を支援
- ・ オフィスの内装等において国産木材の利用拡大を図る取組を検討
- ・ 情報発信拠点「MOCTION」、木材製品展示商談会「モクコレ」などを活用し、都市部において全国の木材をPR
- ・ 木造建築物の設計・提案ができる建築士の養成を促進

(2) 木育活動の推進

- ・ 保育園や民間団体等が行う木育活動を支援
- ・ 都市部において木育を体験できる施設を整備

基軸2 生産性と収益性の高い林業経営

(1) 効率的な施業と先進技術の導入

- ・ 林道の開設と高規格化を推進
- ・ 多摩地域の森林に適した施業の検証と普及を推進
- ・ レーザ計測等による高精度な森林情報の活用や、木材の生産流通における需給情報のシステム化等、林業のDXを推進

(2) 林業経営体の経営基盤の強化

- ・ 意欲的な林業経営体への森林の集約化を促進
- ・ 林業経営体による労働安全対策や、雇用管理の改善に向けた取組を支援
- ・ 森林を生かした事業を取り入れる多角的な林業経営を支援

(3) 多摩産材の利用拡大

- ・ 「東京」の知名度を活用したPRなど、多摩産材のブランドイメージの構築に向けた取組を支援
- ・ 都市部の施主や設計者等に対する効果的なPRを推進
- ・ 都有施設等における率先的な多摩産材利用を推進
- ・ 区市町村の関連施設や商業施設等における多摩産材利用を支援
- ・ 社会の変化を捉えた多様な多摩産材需要の拡大につながる取組を検討

基軸4 都民や企業等による森林利用の拡大

(1) SDGsを目指す協働の森づくり

- ・ 企業等のニーズを踏まえた新たな協働の枠組を検討
- ・ 様々な情報発信やボランティア活動を通じて都民の森づくりへの参画を促進

(2) 森林を生かした産業振興

- ・ 観光をはじめとする多様な森林利用につなげるため、眺望の確保や園地等の整備を支援
- ・ 島しょ地域の有用広葉樹の造林、保育等を支援